

# '16.12

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行人 兵庫県商工会連合会  
代表者 志智宣夫  
発行住所 神戸市中央区花隈町6番19号  
☎078(371)1261㈹〒650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 足立誠  
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植  
会員の購読料は会費に含んでおります

第712号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成28年度 スローガン

## 商工会は行きます 聞きます 提案します



▲贈答品専門店として地域の人々から愛され続けているギフトのタニタ

## Contents

- 県連会Letter 2~3頁
  - ・経営支援事例発表近畿大会
  - ・商工会幹部研修会
  - ・近畿連交流会及びリーダー研修会
  - ・産学連携事業「地域公開講座」
- あなたのまちの元気な企業(新温泉町) 4頁
- 小規模事業者持続化補助金  
採択企業レポート<第1回> 5頁
- 商工会Letter 6頁
  - ・「かみかわカーミン弁当」開発! …(神河町)
  - ・「がいな淡路ステーション」が淡路市に登場! ……(淡路市)
  - ・経営力強化の手法学ぶ …………(姫路市)

ギフトのタニタは今から約30年前にカタログ販売のギフトショップとして浜坂町(現・新温泉町)で開業した。代表取締役の谷田一富氏は当時勤めていた銀行を退職し、退路を断つての挑戦であった。様々な業種を検討していく中で辿り着いた「ギフトショップ」事業。「贈り物文化を通して、人の心と心のふれあいの架け橋となり、心豊かな社会づくりに貢献する」という経営理念のもと谷田氏が自らの足で商品を探し、店舗に置く商品は直接メーカーと交渉し今では約400社と取引がある。ギフト商品だけでなく化粧品販売も行い、様々な年代の人が気軽に店舗へ訪れてもらえるような工夫を凝らすなど、今では新温泉町で暮らす人にとって欠かせない店となっている。

(詳細は4頁)

## ギフトのタニタ

(新温泉町)

真心を贈る専門店





▲真剣にマシュマロ・  
チャレンジに取り  
組む参加者ら

交流会では、東近江市商工会青年部扮する「当地ヒーロー」「赤レンジャイ」によるパフォーマンスもあり、非常に盛り上がった。研修会では、理想の組織づくりについて学んだ。チームビルディングの体験として、制限時間内に与えられたアイテムを使い、いかにマッシュマロを高く持ち上げるかを競う「マッシュマロ・チャレンジ」では、各グループでアイディアや意見が飛び交い、終始笑いの絶えない研修であった。

## 府県の枠を超えた 部員相互の交流

10月25・26日、近畿ブロック

商工会青年部交流会及びリーダー研修会が滋賀県で開催され各府県青年部員約65人が参加した。

1日目は視察研修（西の湖遊覧とラ・コリーナの施設見学）と交流会、2日目には研修会がそれぞれ行われた。

県連合会は神戸山手大学との产学連携協定に基づく「都市と地方の交流事業」として、「基礎からのインバウンド」をテーマに『地域公開講座』を実施した。地方の中小企業・小規模事業者を対象として、より多く講座を受講できる機会を創出するため、10月21日、31日の2日間、姫路市・豊岡市に統いて3会場で開催した。

ントはリピーター率が高いので、淡路島の農業はインバウンドを取り込んでいくうえで大きな資源になる」「既に中国等から訪れているインバウンドをターゲットに、ニーズに合った提供を行うこと有必要だ」という話があつた。



▲講師の小野田教授

主な内容としては、ドン・キホーテにおけるインバウンドの経営戦略の紹介や、地域に根ざした観光マーケティング論についての解説であった。

●9月23日(金)、24日(土)  
同友会視察研修会



#### ▲熱心に説明を聞く参加者



ジブラルタ生命は、  
お客様一人ひとりを大切に  
心に届くサービスをご提供いたします。

## “As safe as the Rock”

～ジブラルタ・ロックのように安心～



Gibraltar  
ジブラルタル

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています。

尼崎信用金庫  
淡路信用金庫  
神戸信用金庫  
但陽信用金庫  
中兵庫信用金庫  
西兵庫信用金庫  
播州信用金庫  
日新信用金庫  
姫路信用金庫  
兵庫信用金庫

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。  
(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます)

安心 安全 国がつくった

# 小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、不安がある

自分で積み増しするには、どんなものがあるの？

退職金の準備を中小機構がお手伝いします

## 制度の特長

- ① 経営者のための  
退職金制度
- ② 掛金は  
全額所得控除
- ③ 受取時も  
税制メリット

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

契約者貸付けの利用が可能

契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押以外は差押禁止債権として保護されます。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧下さい



# あなたのまちの元気な企業 人の心と心をつなぐ 架け橋となる店へ

## ギフトのタニタ(新温泉町)

背水の陣で  
挑んだ開業



▲ベビー用品を購入されたお子様の名前を長年張り続けている

ギフトのタニタは「第2回ひようごいいね！お店表彰」で奨励賞を受賞した。この賞は、兵庫県が魅力と個性あふれる優秀店を表彰するもので、こだわりのあるサービスや地域の課題に積極的に取り組む地域密着型の店舗に贈られる。

ギフトのタニタは、商品から食品、日用品まで何でも取扱いがありますし、何を置くかという取捨選択は自分でさじ加減ひとつで決まります。また在庫管理、営業力、現金管理など全てが行き届いていません。そういう点でもギフトは奥深いですね」と谷田氏。

実際、谷田氏は自らの足でメーカーまでおもむき、自分が納得のいったものをメーカーと直接取引し仕入れている。そのような地道な努力の甲斐もあり、今は約400社の商品を取り扱うようになった。

谷田氏が銀行マンだった頃、取引先である経営者の方々と関わりの中で「一所懸命やるなら自分で事業を興し、そこに力を注ごう」と一念発起し、銀行を退職した。退職時には、何をするかは決まっておらず、設備屋、印刷屋、食品スーパー等様々な



▲美容相談会の様子

## 対面販売の重要性

開業時はカタログ販売のみで、あつたが、対面販売をしたいとの思いから町内に7坪ほどの店を構え、それからわずか9年後には今の大店舗を構えるに至った。

店舗を持つことで、新たな取組みも行った。ギフトショップとしては珍しくギフト商品と併設して化粧品販売にも力を入れた。ギフト商品はお中元やお歳暮など時期によって客数や売上が大きく変わる。しかし、時期を問わない化粧品を扱うことでの波を抑える事にしたのだ。

現在は、不定期開催ではあるものの、「美容相談会」としてお

店舗は必要ありません。しかしカタログでは色合いやサイズがイメージと違うこともあります。出来れば実際に見ていただき、納得したうえで購入していただきたいと思っています。また、現物を見て贈らないと何を送ったか忘れてしまうこともあります。

新温泉町をアピールするため、3、4年前から地元の海で獲れた魚介類の加工品も取扱うようになりました。意外だが、ギフトショップが地元の特産品を扱うことは珍しい。多品種少量パックの詰め合わせとなっており、お土産として好評で、今では同社の根強い人気商品となっている。

肌のお手入れや悩み相談を開催し、好評を得ている。また、子供のいる若者世代に、長らく活動を休止していたPTAの活動助成を復活させた。街買物ポイント事業に申請し、見事採択された。

## 盛り上げるために 地域を

## 盛り上げるために 地域を

## 「変わるもの」と 「変わらないもの」



▲地元で獲れた海産物の詰め合わせ

重要なが、贈り物は大切な人に気持ちを伝える日本の伝統文化であり、その文化を守り次世代へ繋いでいくためには、変えてはいけないこともある。

贈り物に真心をのせて、ギフトのタニタはこれからも人の心と心のふれあいの架け橋であり続ける。

### 【企業概要】

社名／ギフトのタニタ  
代表者／谷田 一富  
創業／昭和58年  
住所／〒669-6747  
兵庫県美方郡  
新温泉町三谷208-1  
☎0796-82-5050  
Fax0796-82-5040



▲持続化補助金で作成したパンフレットを手にする中元社長(左)と女性技術者(右)

## クラシックカーの再生と販売で世界を目指す 多可町商工会×株式会社ヴィラージュ

小規模事業者持続化補助金採択企業レポート〈第1回〉(全5回)

国の「小規模事業者持続化補助金」は商工会の助言等を受けて経営計画を作成しその計画に沿って地道な販路開拓等に取組む費用の3分の2を補助するもの。

平成27年度補正予算小規模事業者持続化補助金の採択を受け、さらなる経営強化にチャレンジしている県内の会員を5回シリーズで紹介する。日本では珍しい「レストア(再生)」を業としている小規模事業者が、最新のプラスチック処理設備を導入した。今回は、鍛金業者を新ターゲットに販路開拓に挑む事例を紹介する。詳細については、県連合会HPに公開している。

http://www.shokoren.or.jp/

多可町で欧州クラシックカーの再生と販売を行う株式会社ヴィラージュ。バブルの頃を知る人なら懐かしい1970年代から1980年代の車も、ヤングタイマー・クラシックとして、今世界で人気を博している。

「レストア(再生)」とは車の数万点にも及ぶ部品全てを分解し組みなおす作業で、全国的に技術者が少ない。同社では、古い車の不具合を修理するだけでなく、パワーステアリングやオートマチックエンジンと入れ替えて、ユーザーが使いやすい仕様にアップデートできるのが特徴。扱う車の説明書が英語でも、語学に長けたスタッフが詳細まで理解し、構造を熟知している点も強みになっている。

と考えていたところ、たまたま商工会の未来創造実践部が管理している空き店舗情報バンクをHPで知ったのが多可町との縁の始まりだ。偶然商工会員から補助金のことを聞いて、そんな施策があるならと紹介を受けて多可町商工会を訪ねる。それが「持続化」2回、「ものづくり」2回の支援につながった。

多可町から世界を目指す

### 持続化補助金の活用

#### ■最新のプラスチックで販路開拓

工場の一角に設置されたプラスチックは、「ものづくり補助金」により購入した。これまで鍛金業者が手作業で行っていた塗装剥離を車1台まるごと処理できるため、圧倒的な時間短縮と品質向上につなげることができる。



▲最新の剥離設備プラスチック

#### 取材者からの一言

##### ■社長の手腕に注目

ウエブを活用し、短期間で顧客を増加させている社長の手腕が光る。クラシックカーの「レストア」というニッチなジャンルならではのサービス展開に注目したい。(取材/県連合会チーフアドバイザー松田記子)

#### 取材者からの一言

##### ■伝わるよう伝えれる

古い車に新しい技術を吹き込んでいく「温故知新」のビジネススタイルに惹かれ、受け止めるだけではなく、どう伝わるよう伝えれるかと考え、計画書と共に創り上げていった。次なるステップは、企業の宝である「人材」の育成。しっかりと伴走できるよう支援していきたい。

### 今後の計画

#### ■次の目標は独自のプロジェクトカー製作

次の目標であるプロジェクトカーの製作も始まった。海外でのクラシックカーブームを見越し、IT業界出身の社長と語学ができる熟練工らのチームで、この

工場には1929年製のベンツトレーラーを始め修理中の車が並び、静かなBGMが流れる中で作業が進められていく。数千万点の部品を扱い、集中力がいる作業なので、静かな郊外で広い工場を持ちたい

業者向けのパンフレット、専用のウェブサイトなど、広告戦略による売上増大と新たな雇用の確保による事業拡大に備える。多可町に来て商工会との出会いから2年。レストアに必要な「高品質を追及する設備」を活かしたプラスチック事業の宣伝ツールが完成した。

#### 企業基本情報

【企業名】	株式会社ヴィラージュ
【所在地】	多可郡多可町中区鍛冶屋
【創業年】	平成26年11月
【資本金】	600万円
【HP】	<a href="http://virage-co.com">http://virage-co.com</a>

## 平成28年度ひょうご「まちおこし」支援事業 「かみかわカーミン弁当」開発!

神河町商工会

神河町商工会(秋山紀史会長)は、ひょうご「まちおこし」支援事業の補助を得て、町のキャラクター「かみかわカーミン」をあしらった「かみかわカーミン弁当」を創作、地産地消の取り組みとして、地元食材を使った弁当を開発した。

商工会の仕出し屋、飲食業、宿泊業を営んでいる個店が組合組織を立ち上げ、県内でも唯一

の受注窓口一本化(事務局・神河町商工会)の受け皿システムを作り、町や各種団体等からの注文を受け、組合員の受け皿として、町の観光名所を取り入れた。下段は、町内産のコシヒカリを使い、杵いっぱいにカーミンをかたどつたご飯、上段は煮物や揚げ物、焼き物で構成。町産の季節野菜もふんだんに盛り込み完成品はどのお店も同じ内容に仕上げた。

今後は、地域住民の方はもちろん、神河町観光施設を訪れる年間のべ70万人の観光客にも、「かみかわカーミン弁当」を食べていただけるよう、神河町の名物としてPRを進めていく。

次なるステップへ進め、地域通貨である「がいなポイント」の更なる流通促進、地域活性化を目指す。

姫路市商工会(北村正和会長)の「バンバン売れるセミナー」が10月26日、同市南駅前町、じばさんびるで開かれた。同市の中小企業人材養成セミナー事業の一環で、市内の経営者ら24人が参加した。

消費税増税が将来的に見込まれる中、個人消費の落ち込みに左右されない強い経営体质づくりが求められており、セミナーでは経営力強化の手法などを11月9日まで3回の講座で学ぶ。

初回は、イグレック代表の田中洋介氏が「マーケティングコンセプト」をテーマに講義。「今は心の時代」で、商品やサービスというモノではなく、お客様の心の中に目を向けるべき」と強調していた。参考となつた。

者は「とても参考となつた。早速、スタッフと一緒に、心に訴えるPOづくりに取り組みます」と話していた。